



このコーナーでは、地域のために一歩を踏み出し、地域の特色を活かした活動をしている団体を紹介します。

住んでるまち、長江のことをもっとよく知ろう！

長江公民館

●きっかけは？

長江地区の高齢化率は市の平均を大きく上回っています(尾道市全体34.3%、長江地区43.9%※平成28年10月末時点)。車の入れない細い道、坂道など、若い人にとっても便利などころとは言い難い地区です。

歴史を振り返ると、長江は出雲街道筋で商店が並び、斜面地には商店主の邸宅が建ち、この地に住むことがステータスとされるほどにぎわっていた時代もありました。

長江のまちを歩いていると、今もそこかしこに当時の面影が見てとれます。

不便なこと、困ったことなど、暮らしていくうえで課題をあげることも必要ですが、『これからの長江のあって欲しい姿』を見るとき長江の歴史をひもときながら、まずは長江に暮らしている我々が足元を見つめ、そこにある資源に気づき、長江地区全体を知るきっかけづくりが必要ではないかと考えました。

●どんなことをしていますか？

今年5月から、長江公民館の定例主催講座として「長江のまちをもっと知ろう」を奇数月に開催し、2年間行う予定です。

1年目は長江のまち全体を広く浅く、まずは知ることから始め、2年目は知ったことをさらに深めていくことにしています。

講師には、元長江中町内会長の香本昌義さんをお迎えし、まち歩きで現場の確認と座学での問題点の抽出・整理を使い分けながら、進めていきます。

5～9月までの講座では、座学で長江の歴史や地形について、古文書や貴重な写真等を利用して、尾道の創成期、中世から栄えた尾道から戦中・戦後・現代と時代の流れを生活体



験談を交えながら見てきました。

11月の講座では、これまでの学習を踏まえて、まち歩きをおこないました。いいお天気の中、観光客に紛れて、自分たちの暮らしているまちを古地図を活用しながら、新たな視点で見て歩きました。

普段何気なく見ている風景にも歴史や文化が隠されており、新たな発見がたくさんありました。



●よかったことは？

こうして、改めて地域を歩く機会が出来たことが大変良かったと思います。

わざわざ行かない場所を丁寧に見たことで、これまで気付かなかった道の段差、空き家の多さにも気づかされました。

「もう、ここもあそこも住まなくなっている」という残念な発見もある反面、「歴史ある素敵な建物を活用してくれる人がいたら元気なまちになる」という、希望も生まれてきます。

●これから…

まちを知ることで、長江に育った、または長江に暮らす私たちが、この地域でできることは何かを考え、行動していく一助になったらいいと思っています。

自分たちでできる、安心・安全のまちづくりへの提案へもつなげていけたらと思います。

引き続き講座の中で長江地区についての理解を深めていきますので、興味のある人は、ぜひ講座へご参加ください。

※事前に申込みが必要です。

☎長江公民館

(9:00～15:49 ☎0848-37-9656)

地域の特色を活かした活動をしておられる方や団体をご存知の方は情報をお寄せください。みなさまから寄せられた情報をもとに取材し、広報等で紹介していく予定です。

☎政策企画課(☎0848-38-9435) ✉kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp